

かかりつけ薬剤師(薬局)を もちましょう



かかりつけ薬剤師(薬局)ってなあに？

病院、クリニックなどの医療機関で処方せんをもらった場合、『保険薬局』と掲示されていれば、自由に薬局を選ぶことができます。気軽に相談でき、安心して薬をもらえる「かかりつけ薬剤師(薬局)」を作り、毎日の生活を健やかに送れるようにしましょう。

かかりつけ薬局をもつメリットは？

- ①あなたの薬歴(薬の服用記録)を作り、管理してくれます。
- ②アレルギー、副作用歴などの体質と照らし合せ、薬の重複や飲み合わせによる副作用を防止できます。
- ③市販薬や健康食品、食べ物や飲み物などとの組み合わせも確認し、指導してもらえます。
- ④医療機関から処方された薬の名前、効き目、服用方法、注意する点などがわかり、文書としても渡してもらえます。

※お薬手帳は無料ですが、「記録」には1回につき10～50円程度かかりますので、薬剤師におたずねください。お薬手帳はあなたの大切な薬の記録です。1冊の手帳をどこの病院、薬局でも提示するようにしてください。



薬の安全な使い方

薬を飲むときは、

- 体を起こして十分な量の水またはぬるま湯で飲みましょう。
- アルコールやたばこの影響にも注意しましょう。
- 抗生剤、鎮痛解熱剤、利尿薬、ビタミンD製剤など長期に服用すると、腎臓機能に影響する場合があります。医師や薬剤師にご相談ください。

子ども

大人と比べ、小児・乳幼児は抵抗力が弱く、薬の吸収や代謝、排せつ能力も未熟なため、薬の使用には、大人以上に慎重な扱いが必要です。

妊娠、授乳中の人

妊娠中は胎児への影響が考えられ、授乳中、服用した薬の成分は、わずかですが母乳にも影響する危険があります。

高齢者

高齢になると、複数の薬を使ったり、内臓の機能が低下して薬の吸収や代謝が変わるので、薬の副作用に注意が必要です。

飲み込む力が落ちたり、飲み忘れがあったりして薬の管理が難しくなる人もいますので、家族や周囲の人の配慮が必要な場合があります。

予防接種

11月1日から
4種混合(ジフテリア・破傷風・百日ぜき・
不活化ポリオ)定期予防接種が始まります

対象者 生後3か月以上90か月までで、三種混合と単独不活化ポリオを1回もしていない児童

場 所 町内指定医療機関

通 知 対象者には個人通知

麻しん風しん混合予防接種は
お済みですか？

対象者 1期(1歳児)、2期(年長児)、
3期(中1)、4期(高3)

※まだ接種ができていない人は、寒くなる前に体調を整えて受けてください。